

るための重要なモラトリアム期間だったのだと思います。勉強には集中しませんでした。早く憧れの東京に行きたい、自立して自由になりたい、という思いが強く、脱出したい一心で短大に進学しました。

担任の先生に合格を報告すると「水橋は要領がいいな」と言われたことをよく覚えています。

就職は、地元の金融系企業も受けましたがなんとなくデスクワークに向かない気がして、親しくさせていただいた教授に「こんなもあるわよ」と薦められたのが航空会社の客室乗務員でした。英語が好き、人が好き、健康、体力もある、ということでありがたいことに合格することができました。

26年間のフライト生活で様々な人との出会いを経験し、日本を外から見ながらコミュニケーション力の重要性を体感しました。

切磋琢磨

仲間を支えられた3年間

高70回 宮川 郁真



高校時代を振り返ると、バレーボールに明け暮れた毎日が1

番に蘇ります。とは言え中学時代に県大会優勝チームのキャプ

その後、対人コミュニケーション力の重要性を感じ、独立し起業し、企業研修など人材育成を行うグロリアタイム株式会社を設立しました。

2017年には子育て、教育事業としてフィンランドエデュケーション協会を立ち上げました。同時期に始めたフィンランド視察報告会などのボランティア活動は松本の県陵同期と一緒に広げています。

これからも県陵のみならずとご縁を大切に、未来をつくる子どもたちの可能性を伸ばす活動を楽しくしながらチャレンジしていこうと思います。



白虹会 2年 鈴木七海

テンを務めていた私は上を目指したいという想いで県陵に進学した訳ではありませんでした。他校と比べると練習時間も限られ恵まれた環境とは言えず、そもそも公立高校が強豪私立に勝つのは不可能だと思っていました。

そんな私の意識を変えてくれたのは仲間でした。私の中で漠然としていた北信越というワードが仲間と練習や日常生活を共にしていくうちに「このメンバーで北信越に出場したい」と明確な目標になりました。むしろこの素晴らしい仲間を「北信越の舞台へ連れていきたい」という気持ちにさせてもらいました。しかしそこからはずらぬ毎日でした。毎朝7時30分から行つた自主練習、顧問の石坂先生による厳しいご指導や練習、毎週末の練習試合。個人的にはエースとしての自覚と責任を石坂先生から問われ続け、どうしたらチームの核となるのかとても悩みました。全員が各々の立場で苦しいことがありましたがお互いに励まし助け合っていました。

こうした日々の厳しい練習を乗り越えていくことで技術面はもちろん、特に精神面で大きく成長し、徐々に本物のチームになっていきました。そして迎え

たインターハイ予選。県陵は県3位となり29年ぶりに北信越出場を果たしました。今でも北信越を決めて嬉し涙を流し、全員で抱き合った瞬間は忘れられません。

私たちは新たな道を切り開くことができたと思っています。後輩たちにはこの道を伝統としてより長く繋いでいって欲しいです。そして今しかできない部活動を精一杯楽しんでもらいたいです。

今後も県陵で出会ったかけがえない仲間を大切に、関東1部という日本最高峰のリーグで自身を磨き頑張りたいと思います。

最後にこの場を借りて日頃男子バレー部の活動に協力して下さる全ての方々に感謝申し上げます。



明日の健康を見つめる

キッセイ薬品

代表取締役社長 最高執行責任者 **両角 正樹** (高26回)

〒399-8710 長野県松本市芳野 19 番 48 号
TEL : 0263-25-9081
URL : <http://www.kissei.co.jp/>

地球にやさしいエネルギーをお届けします

サンリン株式会社

代表取締役会長 柳澤 勝久(高25回)

東筑摩郡山形村下本郷4082-3
☎ 0263-97-3030 FAX 97-3040
<http://www.sanrinkk.co.jp/>

食卓を笑顔に。

ナガノトマト Nagano

代表取締役 井垣孝夫(高23回)

株式会社 ナガノトマト
松本市村井町南 3-15-37 TEL.(0263)58-2288
<http://www.naganotomato.jp>